

朝の来ない夜は無い！

帯山第六町内 自治会だより

春季号
(第68号)

発行責任者
帯山第6町内
自治会長
緒方 建二



自治会長
緒方 建二

令和二年度は、コロナ禍に始まりコロナ禍で終る一年でした。令和元年度末にひと月ほど（三月三日～三月二十四日）の公民館が休館になりました。二年度になっても五月三十一日まで休館延長が続き、えんがわサロン、桜まつり、一年生の歓迎会等が中止となってしまいました。

夏がきて、コロナ禍は一向に収まる気配はなく、運動会、夏祭り、敬老会、地藏祭り等の各行事も軒並みに中止となつてしまい、なにか校区全体がシヨンポリとなつていくように誠に寂しいものでした。

そんな中、長寿会と婦人会は「コロナなんかには負けてたまるか！」とばかりに、いろいろ感染防止対策をしながら、健康体操、ラジオ体操、グラウンドゴルフ、資源回収等を積極的に活動されてい

また、交通安全、防犯パトロールもコロナ禍に關係なく通常活動されていることが、第六町内にどれほどの元気をいただいたことかおぼやかせません。公民館や公園は人が集つてこそ、その存在価値があるのですから。

一時期コロナ禍も終息かと思つたものの、季節が変わると再び猛威を振るいはじめ、熊本県にも独自の緊急事態宣言が発出され再度延長されました。それに伴い、コミセンや憩の家などの公共施設の休館も延長の要請がなされました。当初休館は十二月十九日～一月十一日までとされていましたが、二月七日までと再三に渡つて休館延期が要請されてきました。

第六町内の公民館もそれらに準ずるかたちで同じく休館にしています。が、今回ばかりはあまりにも長すぎる、いつそ利用を許可しようと思つていました。しかし、今熊本市内の感染者の桁が続き、ここが最後の踏ん張りどころと思いをとどまり、再度休館

延長にさせていたいただきました。現在、この原稿を書いている二月十六日の二ユーエで、熊本県独自の緊急事態宣言が前倒しで明日解除されるそうです。また、明日からいよいよワクチン接種が始まります。

待ちわびた明るい日差しが、少しずつではありますが差し込みつつあるようです。朝の来ない夜はありません。コロナ禍が早く終息して、また皆様とお会いできることを切に願つております。

待ちわびた明るい日差しが、少しずつではありますが差し込みつつあるようです。朝の来ない夜はありません。コロナ禍が早く終息して、また皆様とお会いできることを切に願つております。

●**総会が皆様から開かれる**
止になる中、はたして自治会総会が開けるのかと大変心配しました。といふのも、今回の総会は「認可地縁団体申請」の可否を問う重要な会議だからでした。町内への周知、構成員名簿作成、地縁団体申請書類作成などの作業は平成元年度から進めておりましたが、皆様に協力して五月十六日に総会が開かれ晴れて

●**そして臨時総会**
そしていよいよ「認可地縁団体が所有する不動産の登記移転等に係る公告」の申請を問う臨時総会を開催することになりました。臨時総会には構成員のお一人お一人に賛否を問うことですから、その方法をどうやってやるのか、県内の事例も無い中大変苦勞しました。おまけにこの期間に国勢調査の依頼が来まして、それこそたんやわんやの有様でした。

そして九月二十六日に無事に臨時総会が開催され、十二月十七日に「認可地縁団体が所有する不動産の登記移転等に係る公告」が熊本市に公告されました。三月十七日までに異議申し立てがなければ登記手続きに入り令和二年度中には登記が完了できることとなります。改めてふり返つてみて、ここまでやってこれたのは、町内の皆様及び役員一同のご理解とご協力があつたからと心から感謝申し上げます。その支援・指導を忘れてはなりません。また、新年度には皆様に朗報をご報告できるとを祈念いたしております。

帯山第6町内自治会は、私たちの住む町内が「あんぜん、あんしん、たのしい地域」であるための活動です

飛び出し防止標識設置

R2年11月11日に交差道路において帰宅児童と車の出会いがしらの事故がありました。幸い軽傷で済みました。帯山町内は残念ながら交通安全に配慮した街になっていないようです。6町内交通安全班は直ちに飛び出し防止の「とまれマーク」を設置し「警戒標識」の設置依頼をしました。事故の最大原因は私達ドライバーであることは言うまでもありません。細心の注意をはらい運転しましょう。



バス道路からの交差点



「とまれマーク」の設置

公民館・憩いの家大掃除

R2年12月22日（火）
9時-12時 年末恒例の公民館および老人憩の家の大掃除を隅々まで行いました。



老人憩の家の庭掃除



公民館の庭木剪定



老人憩の家の室内掃除

六年生卒業おめでとございます

これからは嬉しさ怒り哀しみ楽しみが爆噴する青い季節に否応なく突入します。あまりの激変にばたぐらうことでしょう。そんな皆さんへ監事、民生児童委員、ボランティアの方々の中学時代のお話を頂きました。（受付順に掲載）

今、飛び立つあなたたちへ 栄光と蹉跎の記

仮校舎から

始まった中学校

監事 緒方正春さん

昭和三十四年四月入学予定の中学校が二月に火事となりました。焼け残ったのは理科室、音楽室、講堂と職員室の一部でした。当時三小学校からの進学でしたので、小学校の講堂を借りての入学式でした。教室は理科室、音楽室と講堂を四つに区切り六教室が作られました。五十名ほどの六クラスでのスタートでした。二年生、三年生は二つの小学校に分散されました。三小学校の集まりでしたので当初は喧嘩やイザコザがありました。そのうち仲良くなりました。

二年生の終わりがよやくと新しい校舎が出来、皆で喜びました。当時ほとんど家庭が農家でしたので、学校農地があり田植え、稲刈りなど実習がありました。また六月には田植え休み、十月には稲刈り休みがありました。当時の中学生は農家の労働力です。数年後私は農業とは関係ないサラリーマンとなりました。中学校での経験はいろんな面でその後の人生に大きく影響しました。

もうだめとあきらめない

つし年だからこそ

(元) ボランティア

斎藤照美さん

私の中学時代、昭和十四年生まれて給食はなく麦ごはん、梅干と漬物、時々五分づつくだいを入れたり塩さばをおいしく食べていた。

ゴム靴を履き通学三十分友達とおしゃべりしながら楽しく通い思い出せばい

です。海も山も十分位の所にあったから貝堀やわかめ、ひじき、あわび、うに、五センチ位の石をおこすとタコをとっておいしく食べていました。山に行くとき松たけ収穫、たき木も持って帰りゴエモン風呂に一人づつ入って満足していました。両親は朝早くから夜おそくまでタバコ、菜種の油、芋、カニコ、みそ、醤油すべて自給自足のものを食べさせてくれました。最近はおかすが品揃いだけ過去の自然食も大好きです。遊びは、なわとび、おにごっこ、かくれんぼ、かんけり、あやとり等平和あいあいで皆とても仲良く日々過ごした思い出ばかりです。スマホで頭を使うのもいいけど外で元気良く体を動かすことも好きです。一月十八日受

梅に残るも楽しき思い出
民生児童委員 横田洋子さん
卒業と聞くと私は中学校は卒業していません。卒業式も思い出していません。つまり卒業式に参加していません。卒業式の日間あり、一日目が終わります。高校入試はその頃です。残り二日間は注射をし、薬を飲み栄養剤を飲んで頑張りました。それからずっと学校を休み卒業式に参加できなかつたのです。合格発表は父が見に行ってくれ

高校はお蔭様で入学式も卒業式も参加できました。

その年は東京オリンピッククがあり午前中授業で昼からは家でテレビにかじりついていました。小学校、中学校とプールがなかったのが泳ぎ上手な子は十メートルの岩の上から飛び込みます。恐怖症の私はせいぜい二メートルの所からです。足のつくのでバタバタが多かったです。その頃の仲間の女子はバタフライ金メダリストの青木まゆみさんがいました。川です。禁止の時には赤旗が立っています。一度ですが朝の赤旗の禁止時間に仲の良い友達と内心ひやひやしながら泳ぎに行っていました。怒られたかどうかの記憶はありません。その友達とは中学校卒業以来あつていない。どうしているかな！。

私の挫折と小さな栄光
民生児童委員 緒方和子さん
私の小学生時代は、三年生の時に母親の薦めもあり女友達三人で剣道を習い始めました。当時は珍しかったのが、西日本新聞に、

帯山六町内のおともたち



六男さん 町子さん

公式ホームページ「帯山6町内」 since2009（平成21年） 12年目

あとがき

当時新興ながらソニーは昭和34年から小学校理科教育振興資金を設け贈呈を始めていました。わが小も代用教員あがりの熱血教師がいて昭和35年に応募準備中でした。帰りの掃除をしている時来て「お前らは今日から科学部だ。残っとけ」と指示されました。その日から夜は9時まで、日曜も登校し先生の助手でした。その甲斐あってか全国第3位に輝きました。一度だけ友人の親が回転焼を差入れたのですが、先生は2個食べボクラがたった1個だったことを受賞以上によく憶えています。



県で初めてと、写真付きで掲載されました。の記事がところどころ、中学では、ほとんど大きくなった男子からの面打ちが痛くてとうとう剣道部を辞めてしまいました。私は小さくて面打ちされた竹刀が後頭部に当たると、それはそれは卒倒するほど痛かったです。他にもお花など色々のお稽古事をさせられていました。が、剣道を辞めたのがきっかけでお稽古事のほとんどが挫折してしまいました。たのはそらばんだけでした。中学では小学校から続いていた放送部に所属しましたが、特に給食時間が好きで、放送室から音楽を流したり、朗読したり、緊張しながらもウキウキでした。私の挫折と小さな栄光でしたが、今ではお稽古事をさせてくれた母に感謝しています。不思議なことに娘も孫娘も小中学校は放送部に所属していました。



平成31年春 熊本市減量美化功労者表彰時

斎藤照美様を偲んで
自治会長 緒方建二
役員員の斎藤照美様が二月十九日に逝去されました。ここに謹んでお悔やみを申し上げます。今年は何の行事もなく卒業していく六年生に贈る言葉として、第六町内の諸先輩方々の小学時代の思い出話を特集し、たまたま斎藤さんから原稿をいただいたばかりです。文章からほとばしる、身を厭わない常に献身的な斎藤さんの元氣な後ろ姿が、いつまでも我々の目に焼き付いています。